

特集

“やまがた創生”

の展開強化

山形の価値を
高め続ける

短期アクションプラン 7つの柱

これからの県づくりに向けて、重点的に取り組む事業の方向性やその進め方を示した「短期アクションプラン」の7つの柱に基づき、様々な施策を展開していきます。



若者の活躍を応援する機運を醸成するため、若者や若者団体の活動情報を発信します。

- 主な事業**
- 低年齢児の保育体制の充実……………8,600万円
 - 「若者支援コンシェルジュ」の配置など若者による地域での活躍を支援……………800万円
 - 小学生を対象とした起業家精神の基盤となるマインドづくりの推進……………500万円



「健康長寿県やまがた」の実現を目指して、若い頃からの主体的な健康づくりの取組みを支援します。

- 主な事業**
- 県民の健康づくりを推進するための基金の創設【全国初】……………300万円
 - 介護離職ゼロに向けた意識改革や介護休業代替職員確保への支援【東北初】……………800万円
 - 観光施設やスポーツ・文化施設などのトイレのバリアフリー化への支援……………1,900万円

- ①郷土愛を育み未来を築く子育て支援・多彩に活躍する人づくり
- ②いのちと暮らしを守る安全安心な社会の構築
- ③新たな価値の創造・拡大・発信による活力ある産業の集積
- ④地域の豊かさを支え、高いブランド力で国内外に展開する農林水産業
- ⑤世界に誇る山形の魅力を発信し国内外の旺盛な活力を引き込む「観光立県山形」の確立
- ⑥再生可能エネルギーによる産業振興と地域活性化、国内外に誇れる優れた環境資産の保全・創造・活用
- ⑦地域活力と多様な交流を生み出し災害に強い県土基盤の形成

1 郷土愛を育み未来を築く 子育て支援・多彩に活躍する人づくり

- 年々増加する保育需要に対応するため、施設整備と保育人材確保の両面から待機児童解消に向けた取組みを進めます。
- 若者の郷土への愛着や誇りを醸成し、地域活動のさらなる活性化を推進するための体制を構築します。
- 県内高等教育機関などへの県内高校生の進学を後押しし、他者との協働しながら新しい価値を生み出す起業家精神の基盤づくりを推進します。

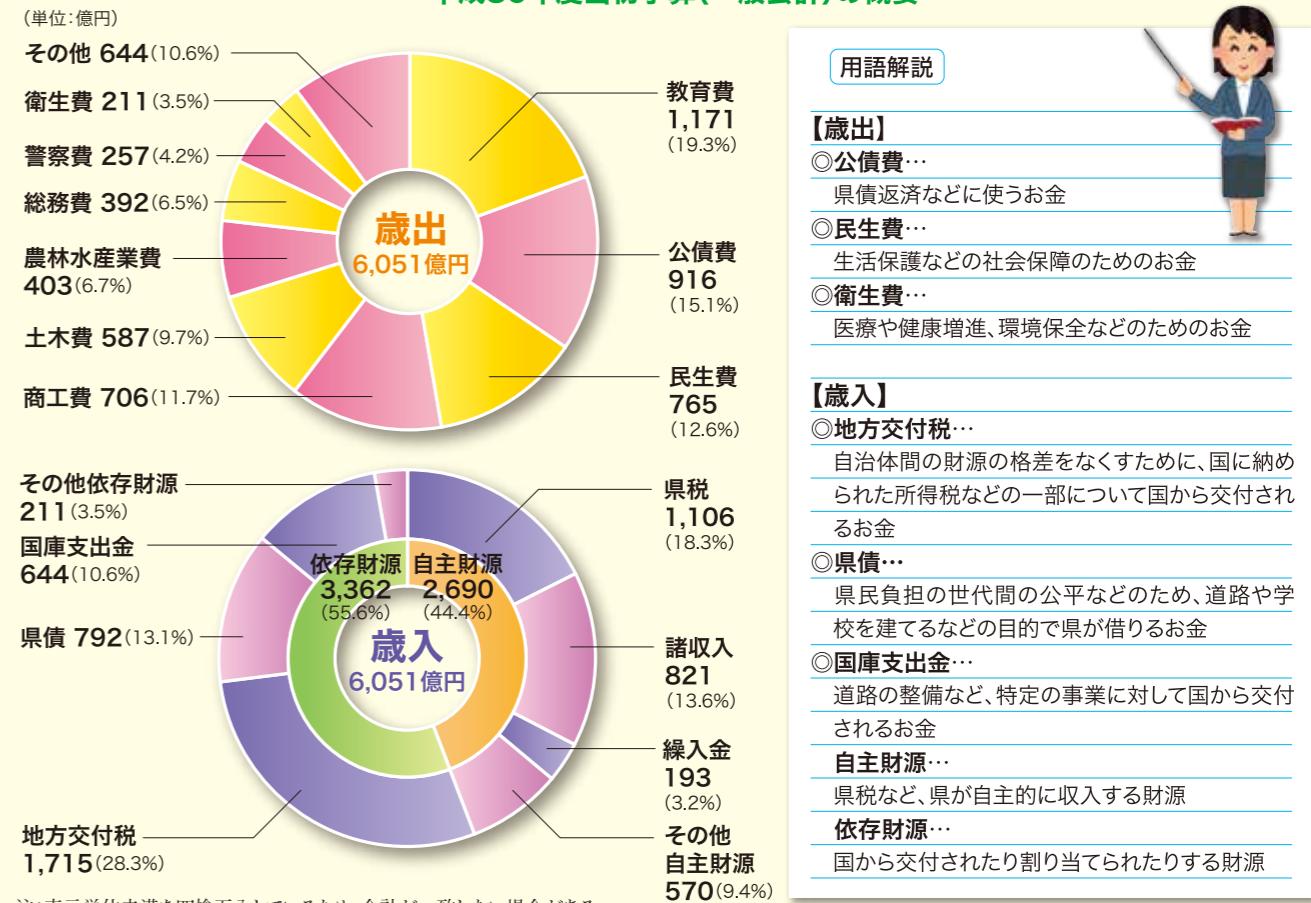
2 いのちと暮らしを守る 安全安心な社会の構築

- 若い頃からの健康づくりに対する機運を醸成し、社会全体で健康を支える新たな仕組みとして、寄付を財源とした基金を創設します。
- 家族介護に伴う離職防止のため、介護と仕事を両立しやすい環境づくりの推進に向けた支援を行います。
- 援助や配慮を必要とする方も出かけやすい県づくりを加速させるため、県内におけるバリアフリー化をハード・ソフト・情報発信の面から推進します。

平成30年度は、「自然と文明が調和した新理想郷山形」の実現に向けて、

①県民総活躍、②産業イノベーション、③若者の希望実現、④健康安心社会、⑤県土強靭化を県政運営の基盤として、「やまがた創生」の展開を強化することにより、山形の価値を高め、県民誰もが山形らしい豊かさを実感できる県づくりを進めます。

平成30年度当初予算(一般会計)の概要



注:表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある

【歳入予算】
県債残高の見込み
 平成30年度末の県債残高は、1兆1768億円と見込んでいます。法人事業税・個人県民税の増収などによるものです。地方交付税は、県税収入の増加などを反映し、減少が見込まれます。

【予算規模】
 平成30年度当初予算は、総額6051億円となり、9年連続で6000億円を超える規模となりました。平成29年度当初予算に比べ、1・3%の減少となりました。が、産業振興による雇用の創出や本県産業をけん引する人材の育成、若者や元気シニアの定着・移住の推進、若い世代への結婚・出産・子育て支援など、「やまがた創生」の取組みを一層強化していくます。



用語解説

【歳出】

- 公債費… 県債返済などに使うお金
- 民生費… 生活保護などの社会保障のためのお金
- 衛生費… 医療や健康増進、環境保全などのお金

【歳入】

- 地方交付税… 自治体間の財源の格差をなくすために、国に納められた所得税などの一部について国から交付されるお金
- 県債… 県民負担の世代間の公平などのため、道路や学校を建てるなどの目的で県が借りるお金
- 国庫支出金… 道路の整備など、特定の事業に対して国から交付されるお金
- 自主財源… 県税など、県が自主的に収入する財源
- 依存財源… 国から交付されたり割り当てられたりする財源